

株主・投資家の皆様へ

# 第48期 年次報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで



**GFC**  
ジーエフシー株式会社  
証券コード：7559

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第48期年次報告書をお届けするに当たり、ひとことご挨拶申し上げます。

当社グループは、「おいしい出会い」を創りたいとの想いを胸に、業務用加工食材の企画・開発・販売業務を通して、日本の食文化の素晴らしさを全国に広めてまいりました。

また、日本国内のみならず、世界中に日本の食文化の素晴らしさを広めるとともに、世界の食材を日本国内に広め、新しいおいしさとの出会いを提案してまいりました。

おいしさに出会うと、  
笑顔が広がる…和が広がる。

当社グループは、日本人の食生活や健康、笑顔に貢献し、人類の豊かな未来に向けた食文化の発展をサポートすべく、役員、従業員一同、努めてまいりたいと存じます。

今後とも皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年6月



代表取締役社長 西村 公一

「おいしい出会い」を創りたい  
おいしい笑顔の世界に広げたい…

## 基本理念 食文化のゆとりと夢を創造します

### 経営理念

得意先には、サービス精神を  
仕入先には、安心と安全を  
株主には、企業価値の増大を  
社員には、楽しさと生きがい  
地域社会には、奉仕の心をも  
って社会の一員として  
会社の発展を目指します

### 目次

基本理念	1
経営理念	1
株主の皆様へ	2
事業の概況	3
GFCの機能と特徴	5
グループの概要	6
連結財務諸表	7
個別財務諸表	9
当社取扱商品	11
株式の状況	12
会社の概要	13

和

安

生

食

心



● 事業の概況

(1) 企業集団の事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景に、設備投資の緩やかな増加、企業収益や雇用情勢の改善が見られるなど、緩やかな回復基調にあるものの、米中貿易摩擦や金融資本市場の変動の影響に加えて、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により、景気の先行きは不透明なまま推移いたしました。

外食産業におきましては、食の安全・安心に関する意識が高まる中、個人消費の持ち直しが見られるものの、人手不足による人件費の上昇、原材料の高騰や物流コストの上昇に加えて、直近では新型コロナウイルスによる人の移動制限が国内外を問わずかかっており、引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中、当社グループでは、優秀な人材の獲得と育成、市場競争力の高い商品の企画開発に注力すると同時に、仕入先との協働による品質管理の更なる強化並びに海外への販売事業の拡大と一般消費者への販売事業の実現に向けて注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は262億53百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益3億67百万円（前年同期比43.5%減）、経常利益4億23百万円（前年同期比39.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は2億54百万円（前年同期比63.7%減）となりました。

(2) 対処すべき課題

当社グループの対処すべき課題は、当社ビジョン「おいしい出会いを創りたい」の実現及び更なる企業価値の向上を目指すため、スピード感を持って構造転換を実現し、5つの戦略を拡充していくことであると認識しております。

当社グループは、時代と環境の変化に合わせた構造転換の必要性を強く意識し、「持続的な利益成長」と「従業員の高成長の重視」の二つの目標を掲げてまいります。その目

標達成のために必要なのが「継続的なスピード感ある構造転換」であり、具体的には、「コア事業への集中」「グループシナジーの更なる強化」「グローバル事業への商品拡大」といった基本に基づき各種施策を進めてまいります。また、これら施策の実現をより強力に下支えするため、「人材の高度化」「経営管理の高度化」も引き続き進めてまいります。

① コア事業（卸売り事業）への集中

「コア事業への集中」については、従来からの当社の強みである、営業力・商品力・物流・ITサービスでの得意分野で重要・重点顧客とのビジネスをさらに強固なものとするために各種施策を推進してまいります。既存事業の収益性を高めるため、更なる既存販売ルートへの商品開発を高めること、付加価値向上・仕入れ・調達改革による強みの進化を目指す施策を推進してまいります。加えて、日本全体で将来的な人口減少、少子高齢化による健康需要、インバウンド需要、趣味・娯楽の多様化等への事業環境の変化を前提条件に、新たなビジネスモデルへの発想の転換・構造転換を加速させることや、収益性の観点で事業領域の見直しを引き続き進めてまいります。

② グループシナジーの強化

消費者・市場のニーズの多様化・複雑化により、企業は今まで以上に新たな価値を生み出す必要があります。そのため当社はグループ子会社との連携をさらに強化し、シナジー効果を追求していくことが重要な経営課題だと認識しております。新規顧客の開拓や獲得、既存顧客へのサービス向上や、共通する業務の一本化によるコスト削減等、グループ会社同士の強みや弱みを相互補完して、それぞれのグループ会社の競争力を向上させ、さらなる相乗効果を発揮してまいります。

③ グローバル事業への商品の拡大

「グローバル事業への商品の拡大」については、これまで特に成長著しいASEANのマーケット獲得のために各国の有力企業との取引を通じた商品展開をしてまいりましたが、今後も、ASEAN市場での更なる和食文化の発展と成長を目指すためには、当社の強みである商品の幅広さとともに、商品企画力を生かしたグローバル市場に通用する商品開発力の強化であると考えております。また、欧米や中国等の市場も見過ごすことなく、幅広いグローバル市場の企業との提携を積極的に進めることで、当社グループの成長エンジンに組み込み、日本市場やASEAN市場で投入する商品ソリューションを充実させてまいります。

④ 人材の高度化

「人材の高度化」については、従業員の成長や自己実現・健康を重視し、多様な人材が活躍できる仕組み・風土構築を通じて働きがいのある企業文化の向上に努めてまいります。従業員が仕事を通して自己実現を図り、より高い成果を生み出せるよう、職場風土・環境の整備に取り組み、各種施策を着実に実行してまいります。こうした取り組みの結果、従業員の健康管理を経営的な視点で考えております。引き続き、働き方改革を通じた生産性の向上と企業価値の向上、健康経営を積極推進し、従業員一人ひとりの成長と会社の持続的な発展を目指し、各種制度や職場環境の整備を進めてまいります。

⑤ 経営管理の高度化

「経営管理の高度化」については、市場でのコストダウン圧力に加え、仕入原価、物流費、人件費の高騰による収益構造の悪化は喫緊の課題であります。

また、食品を取り扱う企業として商品の品質を確保することは最も基本的かつ、重要な管理機能です。加えてこの度の新型コロナウイルス感染症の蔓延など、予期せぬ災害や震災、リスクに備えた管理体制の強化が求められます。これら経営の環境の変化に合わせた課題を克服するためにも、グループ会社それぞれ、全国の各拠点営業所それぞれが管理人材の強化を図り、一体となって構造転換を実現し、部門採算管理、グループ経営管理の高度化の実現を推進してまいります。

当期（連結）の状況

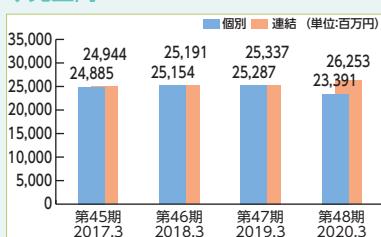
売上高  
262億53百万円  
（前年同期比3.6%増）

営業利益  
3億67百万円  
（前年同期比43.5%減）

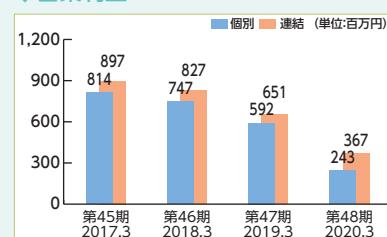
経常利益  
4億23百万円  
（前年同期比39.7%減）

親会社株主に帰属  
する当期純利益  
2億54百万円  
（前年同期比63.7%減）

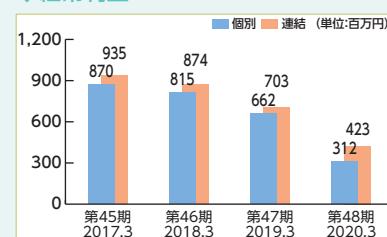
◆売上高



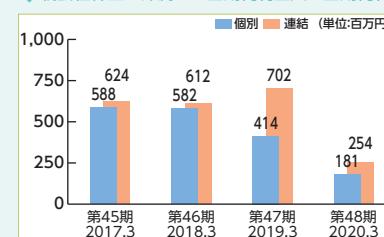
◆営業利益



◆経常利益



◆親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純利益



◆1株当たり当期純利益

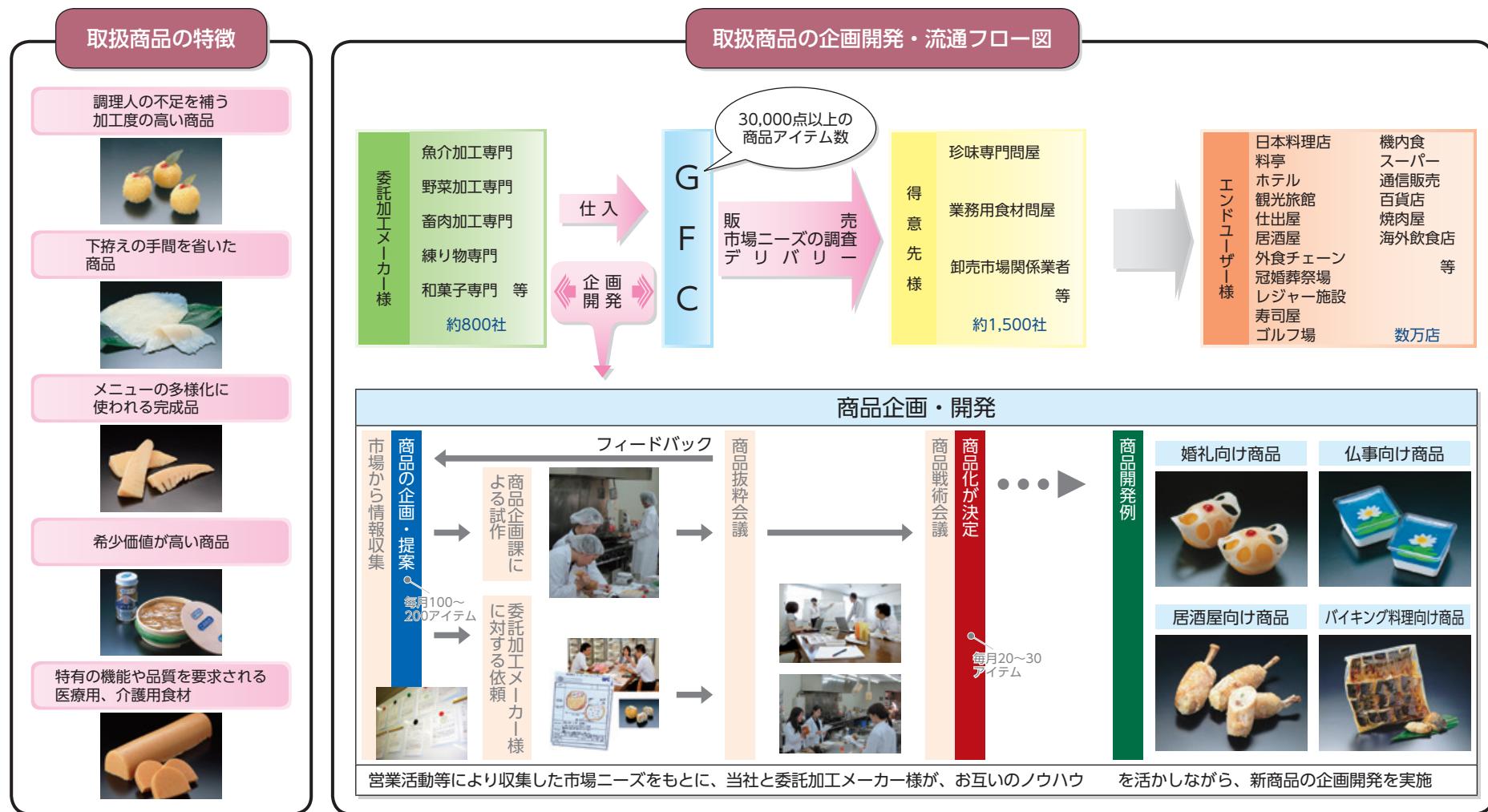


◆ GFCの機能と特徴

当社は、主に業務用加工食材を取扱う、一次卸売業です。当社の特徴は、料理人の方々をサポートする食材を専門に取扱ってきたことにあります。

時代背景を元に、調理場・セントラルキッチンニーズを収集し、様々な商品を企画・開発・販売することによって、事業を拡大してまいりました。

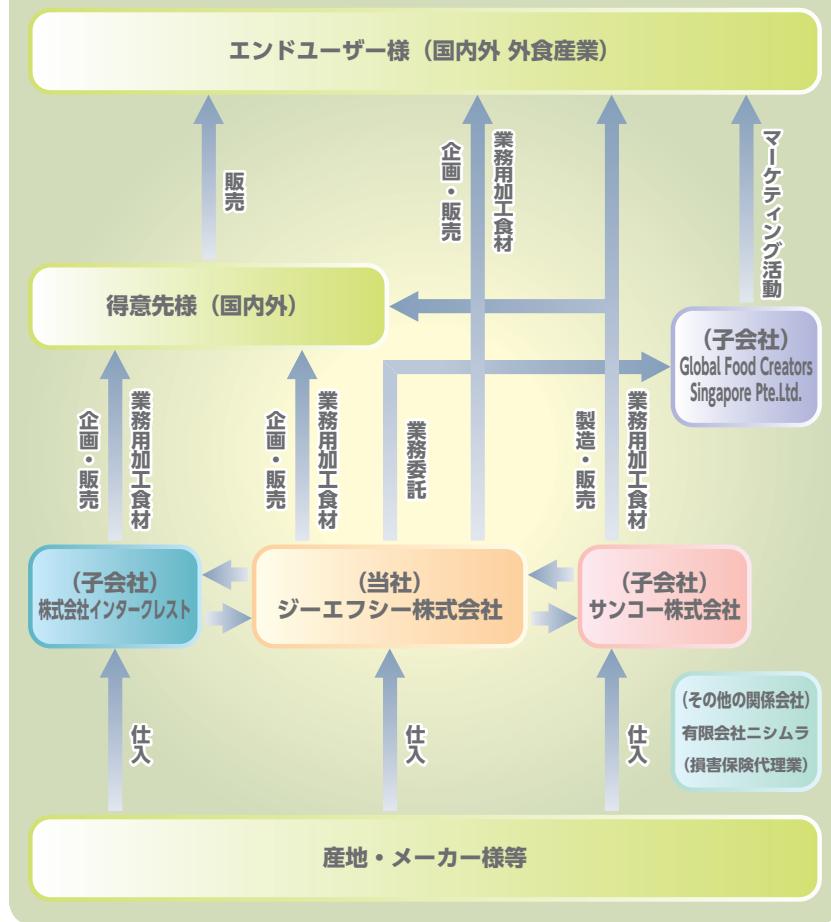
当社では、手作り感のある付加価値の高い商品を30,000点以上取扱い、幅広く、使い勝手の良い食材をお客様のニーズに合わせて提供しております。



当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社、連結子会社3社及びその他の関係会社で構成され、その主な事業内容は、観光旅館、ホテル、冠婚葬祭場、その他外食産業で使用される業務用加工食材の企画・製造・販売であります。当社グループ内における当社及び連結子会社の位置付けは、次のとおりであります。

- 業務用加工食材の企画・販売……当社（ジーエフシー株式会社）株式会社インタークレスト
- 業務用加工食材の製造・販売……サンコー株式会社
- 海外市場におけるマーケティング活動……Global Food Creators Singapore Pte.Ltd.

事業の系統図は次のとおりであります。



連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期 (2019年3月31日現在)		当期 (2020年3月31日現在)		科目	前期 (2019年3月31日現在)		当期 (2020年3月31日現在)	
<b>資産の部</b>					<b>負債の部</b>				
流動資産	13,052,215	12,242,711	流動負債	2,921,273	1,701,914				
現金及び預金	6,893,491	7,620,149	支払手形及び買掛金	1,938,444	1,099,389				
受取手形及び売掛金	3,930,929	2,110,288	短期借入金	149,364	32,000				
有価証券	900,000	900,000	1年内返済予定の長期借入金	42,480	42,480				
商品及び製品	1,165,054	1,430,164	未払法人税等	303,189	151,133				
原材料及び貯蔵品	74,625	76,778	賞与引当金	127,476	137,807				
その他	95,654	110,071	役員賞与引当金	5,498	5,423				
貸倒引当金	△7,540	△4,740	その他	354,820	233,680				
固定資産	7,392,221	6,738,832	固定負債	402,905	367,962				
有形固定資産	4,618,526	4,601,929	長期借入金	86,080	43,600				
建物及び構築物	671,116	652,293	役員退職慰労引当金	74,267	81,964				
機械装置及び運搬具	72,968	80,660	退職給付に係る負債	171,052	171,892				
土地	3,800,175	3,778,055	その他	71,506	70,506				
建設仮勘定	1,029	-	<b>負債合計</b>	<b>3,324,178</b>	<b>2,069,876</b>				
その他	73,237	90,920	<b>純資産の部</b>						
無形固定資産	58,158	72,442	株主資本	17,114,020	16,921,290				
ソフトウェア	8,432	43,116	資本金	2,344,021	2,344,021				
その他	49,726	29,326	資本剰余金	2,295,156	2,295,156				
投資その他の資産	2,715,535	2,064,460	利益剰余金	12,522,509	12,633,580				
投資有価証券	2,293,285	1,677,742	自己株式	△47,667	△351,467				
繰延税金資産	98,132	90,232	<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>6,238</b>	<b>△9,623</b>				
退職給付に係る資産	161,969	149,391	その他有価証券評価差額金	8,608	△6,218				
その他	172,923	171,337	為替換算調整勘定	△2,370	△3,405				
貸倒引当金	△10,776	△24,243	<b>純資産合計</b>	<b>17,120,258</b>	<b>16,911,666</b>				
<b>資産合計</b>	<b>20,444,436</b>	<b>18,981,543</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>20,444,436</b>	<b>18,981,543</b>				

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで		当期 2019年4月1日から 2020年3月31日まで	
売上高	25,337,317	26,253,855	売上原価	20,834,877
売上総利益	4,502,439	4,605,818	売上総利益	4,502,439
販売費及び一般管理費	3,851,254	4,238,218	営業利益	651,185
営業利益	651,185	367,600	営業外収益	52,368
営業外収益	52,368	61,877	営業外費用	155
営業外費用	155	5,736	経常利益	703,397
経常利益	703,397	423,740	特別利益	273,931
特別利益	273,931	498	特別損失	61,911
特別損失	61,911	23,822	税金等調整前当期純利益	915,417
税金等調整前当期純利益	915,417	400,416	法人税、住民税及び事業税	195,296
法人税、住民税及び事業税	195,296	137,511	法人税等調整額	18,011
法人税等調整額	18,011	8,614	当期純利益	702,110
当期純利益	702,110	254,290	親会社株主に帰属する当期純利益	702,110
親会社株主に帰属する当期純利益	702,110	254,290		

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

連結株主資本等変動計算書 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,344,021	2,295,156	12,522,509	△47,667	17,114,020	8,608	△2,370	6,238	17,120,258
当期変動額									
剰余金の配当			△143,220		△143,220				△143,220
親会社株主に帰属する当期純利益			254,290		254,290				254,290
自己株式の取得				△303,800	△303,800				△303,800
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△14,827	△1,034	△15,862	△15,862
当期変動額合計	-	-	111,070	△303,800	△192,729	△14,827	△1,034	△15,862	△208,591
当期末残高	2,344,021	2,295,156	12,633,580	△351,467	16,921,290	△6,218	△3,405	△9,623	16,911,666

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期 (2019年3月31日現在)	当期 (2020年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>11,300,900</b>	<b>10,744,038</b>
現金及び預金	6,136,044	7,045,342
受取手形	540,812	284,063
売掛金	2,787,459	1,529,150
有価証券	900,000	900,000
商品及び製品	802,115	823,116
原材料及び貯蔵品	15,970	17,153
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	33,333	66,666
その他の	92,014	82,976
貸倒引当金	△6,850	△4,430
<b>固定資産</b>	<b>7,850,493</b>	<b>7,117,137</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>4,498,844</b>	<b>4,461,617</b>
建物	564,916	542,871
構築物	13,750	12,970
機械及び装置	38,890	31,452
車両運搬具	8,070	5,926
工具、器具及び備品	72,012	90,340
土地	3,800,175	3,778,055
建設仮勘定	1,029	-
<b>無形固定資産</b>	<b>53,802</b>	<b>68,952</b>
借地権	21,741	21,741
ソフトウェア	4,369	39,919
電話加入権	6,535	6,535
その他の	21,156	756
<b>投資その他の資産</b>	<b>3,297,846</b>	<b>2,586,567</b>
投資有価証券	2,293,285	1,677,742
関係会社株式	347,163	347,163
出資	90	90
関係会社長期貸付金	266,666	200,000
破産更生債権等	54	14,203
長期前払費用	14,861	17,718
繰延税金資産	72,042	70,662
保険積立金	61,911	63,939
その他の	251,865	219,291
貸倒引当金	△10,095	△24,243
<b>資産合計</b>	<b>19,151,393</b>	<b>17,861,175</b>

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

科目	前期 (2019年3月31日現在)	当期 (2020年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>2,445,334</b>	<b>1,425,123</b>
支払手形	105,537	41,069
買掛金	1,734,124	943,608
未払金	184,122	117,563
未払費用	81,846	65,219
未払法人税等	181,966	118,863
未払消費税等	12,125	-
預り金	20,131	8,295
賞与引当金	120,787	125,945
役員賞与引当金	4,448	4,373
その他の	245	185
<b>固定負債</b>	<b>280,491</b>	<b>290,446</b>
退職給付引当金	150,052	155,086
役員退職慰労引当金	67,533	73,454
その他の	62,906	61,906
<b>負債合計</b>	<b>2,725,825</b>	<b>1,715,570</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>16,416,959</b>	<b>16,151,824</b>
資本金	2,344,021	2,344,021
資本剰余金	2,295,156	2,295,156
利益剰余金	11,825,448	11,864,114
自己株式	△47,667	△351,467
<b>評価・換算差額等</b>	<b>8,608</b>	<b>△6,218</b>
その他有価証券評価差額金	8,608	△6,218
<b>純資産合計</b>	<b>16,425,567</b>	<b>16,145,605</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>19,151,393</b>	<b>17,861,175</b>

損益計算書

(単位：千円)

科目	前期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	当期 2019年4月1日から 2020年3月31日まで
売上高	25,287,045	23,391,242
売上原価	20,959,345	19,272,508
売上総利益	4,327,699	4,118,733
販売費及び一般管理費	3,735,287	3,875,509
営業利益	592,412	243,224
営業外収益	70,899	70,615
営業外費用	845	1,420
経常利益	662,467	312,419
特別利益	-	98
特別損失	61,843	23,431
税引前当期純利益	600,623	289,085
法人税、住民税及び事業税	168,344	105,106
法人税等調整額	18,267	2,093
<b>当期純利益</b>	<b>414,011</b>	<b>181,885</b>

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)



株主資本等変動計算書 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金			
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金					利益剰余金合計	
当期首残高	2,344,021	2,295,156	2,295,156	124,250	7,350,000	4,351,198	11,825,448	△47,667	16,416,959	8,608	8,608	16,425,567
当期変動額												
剰余金の配当							△143,220	△143,220	△143,220			△143,220
当期純利益							181,885	181,885	181,885			181,885
自己株式の取得								△303,800	△303,800			△303,800
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										△14,827	△14,827	△14,827
当期変動額合計	-	-	-	-	-	38,665	38,665	△303,800	△265,134	△14,827	△14,827	△279,961
当期末残高	2,344,021	2,295,156	2,295,156	124,250	7,350,000	4,389,864	11,864,114	△351,467	16,151,824	△6,218	△6,218	16,145,605

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

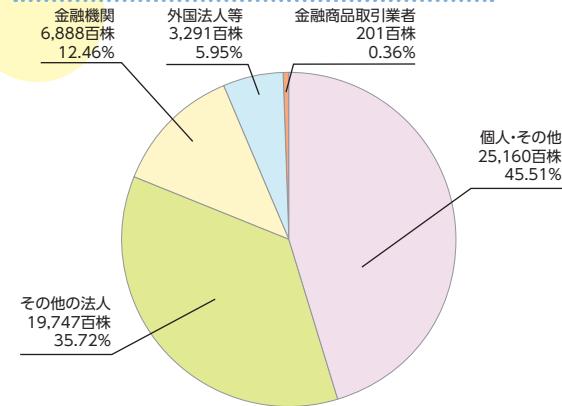
婚礼会席



● 株式数及び株主数

発行可能株式総数	21,870,000株
発行済株式の総数	5,528,806株
(自己株式240,234株を除く)	
単元株式数	100株
株主数	4,051名

● 所有者別株式分布状況 (自己株式除く)



● 大株主

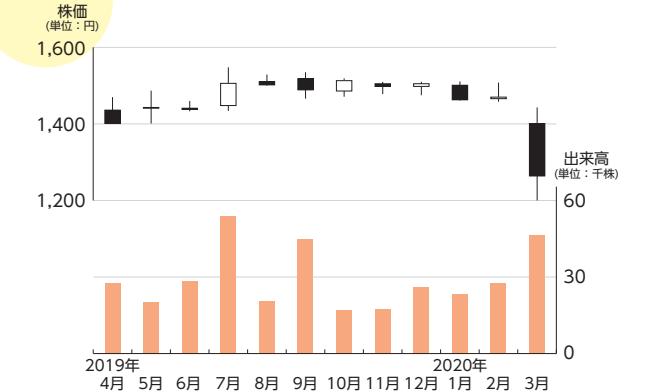
株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
有限会社ニシムラ	14,920	26.98
ジーエフシー取引先持株会	6,976	12.61
株式会社十六銀行	2,430	4.39
ジーエフシー従業員持株会	2,415	4.36
株式会社大垣共立銀行	1,890	3.41
西村牧子	1,820	3.29
西村悦郎	1,700	3.07
西村美枝子	1,700	3.07
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD - SINGAPORE BRANCH PRIVATE BANKING DIVISION CLIENT A/C 8221-563114	1,194	2.15
西村公一	680	1.22

(注) 持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

● 株主数の推移



● 株価及び出来高の推移



● 会社の概要

(2020年3月31日現在)

商号 ジーエフシー株式会社  
 本社 〒501-6193  
 岐阜県羽島郡笠松町田代978番地の1  
 設立年月日 1972年8月31日  
 事業内容 業務用加工食材卸  
 資本金 2,344,021,668円  
 営業所 仙台営業所（仙台市宮城野区）  
 東京営業所（東京都中央区）  
 大阪営業所（大阪市此花区）  
 福岡営業所（福岡市博多区）  
 （注）福岡営業所は、2019年5月に、博多区東那珂から同区月隈に移転いたしました。

従業員数 233名

● 役員

(2020年6月23日現在)

取締役社長 西村公一\*  
 取締役 岩永雅由  
 取締役 苗村彰仁  
 取締役 葛西良亮  
 常勤監査役 飯尾照男  
 監査役 足立雅之  
 監査役 諏訪直樹

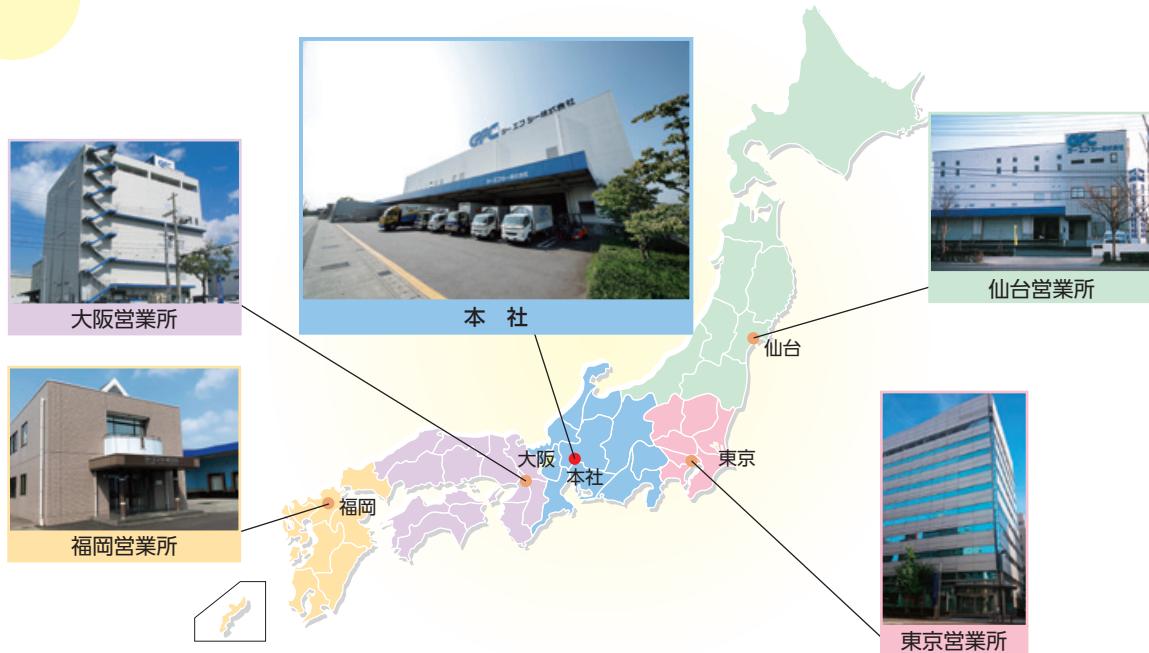
(注) 1. \*印は代表取締役であります。  
 2. 取締役 葛西良亮氏は、社外取締役であります。  
 3. 当社は、取締役 葛西良亮氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届けております。  
 4. 監査役 足立雅之、諏訪直樹の両氏は、社外監査役であります。  
 5. 当社は、監査役 足立雅之、諏訪直樹の両氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届けております。



◆ 社名の由来

ジーエフシーの名前は「GLOBAL FOOD CREATORS」（世界の食の創作者の意）から頭文字をとったもので、おいしさを世界に追求する当社の姿勢を示しております。

● 営業拠点



当社ホームページをご覧ください。

株主・投資家向けのIR情報から新商品などの取り扱い商品まで、様々な会社情報を随時開示しております。ぜひ、ご覧ください。



上記のQRコードにて当社ホームページをご覧ください。  
 ※QRコードは（株）デンソーウェブの登録商標です。

<http://www.gfc-c.co.jp/>

事業年度  
期末配当金受領株主確定日  
中間配当金受領株主確定日  
定時株主総会  
株主名簿管理人  
特別口座管理機関  
同連絡先

4月1日～翌年3月31日

3月31日

9月30日

毎年6月

三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

東京都府中市日綱町1-1 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所  
証券コード  
公告の方法

東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)

7559

電子公告により行う

公告掲載URL <http://www.gfc-c.co.jp/>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

## 【ご注意】

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ● 株主優待のご案内

当社では、ご所有の株式数に応じて当社取扱商品を贈呈する株主優待制度を導入しております。

毎年、9月30日現在のご所有株式数100株以上1,000株未満の株主様に対し、2,000円相当、1,000株以上10,000株未満の株主様に対し、5,000円相当、10,000株以上の株主様に対し、10,000円相当の当社取扱商品を年1回贈呈いたします。

## 2019年度 株主優待品

2,000円相当の商品



【瀬戸乃屋 佃煮五品詰合せ】

5,000円相当の商品



【曙光 (のり詰合せ) 桐箱入】

10,000円相当の商品



【伊予牛 絹の味】

＜お問合せ先＞

ジーエフシー株式会社 総務人事部

〒501-6193 岐阜県羽島郡笠松町田代978番地の1

電話 058-387-8181 (代表)

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

